

子どもが安心して学べる学校

いじめを許さない学校

思いやり溢れる学校

基本方針

- * 「3にもで考え 自分から動く」授業の実現
- * 「相手を思いやれる」子どもの育成
- * 「3にもを大切にする」子どもの育成

【未然防止】

- * 異学年交流（3ハピ）でふれあう機会を増やす
 - * 授業を通して、子どもたちが「居場所」と「つきたい力」をもてるようにする。
 - * 「3にも」の活動を通して、「相手を思いやれる」子どもを育成する。
 - * 特別支援教育の視点を大切に生徒指導を通して、生活のきまりを守り、正しく判断する子を育てる。
 - * 特別活動を通して、「3にも（自分にも相手にもみんなにもよいこと）をしよう」を実践する子を育てる。
- 昨年度の取り組みの評価 —
- ・ 友達を思いやり、助け合うことができる（児童）92%
 - 本年度は95%達成を目標として継続して取り組む

【早期発見】

- * 「生活アンケート（校内）」を活用する。
 - * 「連絡帳」等に書かれた子ども・保護者の声を受けとめる。
 - * 子どもの表情やしぐさ、行動等から「なぜ、そうなのか（原因）」を考え、見つめる。
 - * 生徒理解研修（子どもを語る会）の実施を通して全職員で子どもの情報を共有する。
- 昨年度の取り組みの評価 —
- ・ 相談できる友達や先生がいる（児童）89%
 - 本年度は95%達成を目標として継続して取り組む

【早期対応】

- * 毎週の夕打ちで気になる児童について報告と共有をする。
 - * ケース会議を設定する。
 - * 関係機関との連携を進める。
- 昨年度の取り組みの評価 —
- ・ 安心安全な学校づくりに努めている（保護者）94%
 - ・ 安心安全な学校づくりに努めている（教職員）100%
 - 本年度は95%達成（保護者）を目標として継続して取り組む

【PTAや地域との連携】

- * 学校だより、学年だよりを発行する。
- * 学校運営協議会での情報交換、情報収集

【児童生徒が自ら考える場・機会の設定】

- * 各学級での「3にも掲示板」を活用する。
- * 学級活動を充実したものにする。
- * 情報モラルの動画視聴をし、考えを交流する。
- * 静岡県版SELなどを参考に、人権感覚を涵養する。

【校内いじめ対策委員会】

- 委員
- 校長・教頭・教務主任・
 - 養護教諭・生徒指導主任・
 - 特別支援教育コーディネーター・
 - 該当学年部・SC・PTA会長

【職員研修・指導体制】
【取組等の点検】

- * 生徒指導研修会を行う。（担任の悩みを全校職員が共有し改善策を構築する。）
- * SCを講師とした生徒指導研修会を行う。（いじめ早期発見に向けた研修を積み重ねる。）
- * 問題対応については、早期に報告し、常にチームで対応する。
- * 学年主任者会で、各学年の状況について話し合い、指導の重点などを共通理解する。
- * 生徒指導提要の「いじめ」の項目などを活用し、研修を行う。

【関係機関との連携】

- * 教育政策課生徒指導担当
- * 藤枝警察署
- * こども課
- * こども・若者支援課
- * こども発達支援課
- * 児童相談所
- * SC
- * SSW
- * 通級指導教室など